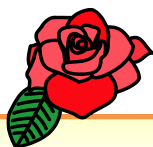


Ikuhou 通信 ~7月号~

令和5年6月5日発行



育宝進学塾ホームページ: <https://www.ikuhou.com>

飯能教室: ☎ 042(972)5543 ✉ hannou@ikuhou.com
入間教室: ☎ 04(2963)2376 ✉ iruma@ikuhou.com
小川教室: ☎ 0493(73)2221 ✉ ogawa@ikuhou.com
東松山教室: ☎ 0493(81)4970 ✉ higashimatsuyama@ikuhou.com
武蔵藤沢教室: ☎ 04(2902)6910 ✉ musashi-fujisawa@ikuhou.com
新所沢教室: ☎ 04(2968)6835 ✉ shintokorozawa@ikuhou.com

最新情報

さて、埼玉県の公立入試の結果が発表されました。全体で 1.14 倍、普通科は 1.17 倍と前年の 1.16 倍との差は感じられない倍率でした。

令和5年度埼玉県公立高等学校入学者選抜学力検査結果

	全教科 受検者数	国語	社会	数学	理科	英語	計
令和3年度	41,313	68.7	62.6	62.2(56.0)	56.2	51.4(61.6)	301.1(305.1)
令和4年度	40,089	62.9	52.9	48.0(42.6)	52.5	52.6(58.3)	268.9(269.2)
令和5年度	39,531	57.1	64.1	55.8(50.5)	58.2	45.8(56.7)	281.0(286.6)

※()は学校選択問題の平均点

令和5年度入試では、一般・選択問題ともに平均点が上がりました。一般問題を受検した 29,184 人に対して、数学・英語の選択問題は 10,347 人が受検しました。入試に臨む生徒の平均偏差値は 52 前後、合格者は 53 前後と予想されます。つまり、281.0 点は偏差値 52 相当の点数ということになります。ただし、現在は上位層が選択問題実施校に流れているので、281.0 点が偏差値 50 前後になると考えられます。

お知らせ

期末テスト対策「理社マラソン」

6月11日(日)・17日(土)・25日(日)の10:00~18:40、24日(土)10:00~16:35で「理社マラソン」を行います。一学期最後のテストになるので、しっかり準備をしましょう。

理社マラソンは、理科・社会はもちろん、英語・数学・漢字の対策もできます。すべての時間参加可能なので、予定を合わせて参加しましょう。

7月の予定

中1・2 第二回、中3 第四回模擬テストについて

中1・2 第二回、中3 第四回模擬テストが7月8日(土)に実施されます。当日都合が合わない場合には事前受験ができます。掲示などを注意してみてください。

中3：13：00～16：50 中2：14：00～16：40 中1：14：00～16：40

7月16日 中3 北辰テスト

中3対象に北辰テストが7月16日(日)に実施されます。1学期最後の北辰テストになります。ほとんどの私立高校がこの北辰テストの結果から推薦基準として使用します。範囲表を確認し、しっかり準備をしましょう。6月23日(金)が申込〆切になります。申込書は塾に届き次第配布します。また、過去問が欲しい人は受付で申し込んでください。

一学期終了と夏期講習について

7月20日(木)で一学期の通常授業が終了します。そのあと、二学期の通常授業が始まる9月1日(金)までの間に、夏期講習を行い、1学期の復習と2学期の準備を進めます。詳しくは、別途配布する「夏期講習の案内」をご覧ください。また、ご不明な点等ございましたら、お気軽に教室までお問い合わせください。

教室から そして 来月以降

小学部・中学部の保護者面談について

保護者の方対象『保護者面談』を5月30日から実施しています。別紙にて予定を配布しています。ご確認をお願いします。普段の塾での様子や、ご自宅での様子に加えて、夏の予定もお話しさせていただきます。お子さまに配布している「夏期講習受講申込書」をご持参ください。また、面談にてお話しさせていただいた後に、日程の変更等ございましたら、お気軽に塾までご連絡ください。

日帰り合宿について

今年度も下記の日程で「日帰り合宿」を行います。普段と異なる学習機会を経ることで、お子様たちの成長に大きく役立つ行事となっています。また、夏期講習と合わせて、夏の学習量の確保と、それを取り遂げることの達成感を味わうことのできる貴重な機会にもなっています。是非ご参加ください。詳細については、別紙にてご案内させていただきます。

日程 8月10日(木)・8月11日(金)の2日間 申込〆切:6/26

中3 10:00～21:40 8コマ×2日間

中2 13:20～20:15 5コマ×2日間

中1 11:25～18:55 5コマ×2日間

保護者様への情報コーナー

今月のテーマ：子どもと離れつつ、子どもを守る！

親と子どもの心理的な距離で、親子のコミュニケーション環境は大きく変わるものです。子どもを自分の分身だと思っている場合は、心理的な距離は非常に近く、子どもを一個の独立した人間だと思っている場合、心理的な距離が取られています。親が子どもをどう見ているかで、心理的な距離は変わります。

心理的な距離があまりに近すぎると、お互い感情的になりすぎて、愛憎感情が大きくなりますし、あまりに遠いと愛情が伝わり難くなって、愛情確認のための問題行動が多くなってしまいかもしれません。親は、意識して子どもと適切な距離を取るようにしたいものです。

子育てにおける子どもと親の距離は、子どもの成長に合わせて、徐々に拡大していかなくてはなりません。乳児の時には、親子完全密着ですが、子どもが一人で立って歩けるようになった頃から、親は徐々に物理的にも精神的にも距離をとって、子どもの成長を見守ってやらなくてはならないのです。「子どもと離れつつ、子どもを守る」ように育てなければならないということです。

たとえば、問題を起こした子どもに対応する時、心理的な距離が近すぎてしまうと、カッとなって冷静さを欠いてしまうことが多いはずで、「この子はなんでこんなことをしたのだろうか？」と冷静に考えられる余裕を持てれば、感情を抑えて対応できるはずで、そういう時に、こんな風に考えてほしいのです。「他人の子どもがやったこととして、まずは、受け止める」ということです。まずは、自分(=親)から独立した第三者として子どもを見てください。独立した第三者として、離れつつ、守っていくことが子育てなのだと思ってみてください。

自分の子どもが問題行動を起こしたら、まず、他人の子どもが起こした時の対応を頭に思い浮かべてみてください。たとえば、子どもが牛乳をこぼしたら、他人の子どもが牛乳をこぼしたように対応してみてください。まず他人の子どもを気遣って(大丈夫？牛乳かからなかった?)、こぼれた牛乳を拭いて、おかわりを用意する。こんな感じで対応していこうと決めてください。

実は、こういう対応がセルフ・エスティームを高めることにつながっていくのです。ぜひ、心理的な距離を意識的に子どもととるようにしてください。親子のコミュニケーション環境は、驚くほど改善するはずで。

**このコーナーでは、保護者の方へ、
お子様との関わり方についてお伝えしていきます。**

**お近くで塾を探しているお子様や保護者様はいらっしゃいませんか??
ぜひ、育宝進学塾にご紹介ください。**

お問い合わせTEL 04-2968-6835 岩崎までご連絡ください。